

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 高体連規則により、引率教員がない学校の出場は認めない。

2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。
- (2) 招集時間

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技 予選	競技開始60分前	競技開始20分前
トラック競技 準決・決勝	競技開始30分前	競技開始15分前
リレー競技 予選・決勝	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始90分前	競技開始60分前

- (3) 招集の手順

- ① 競技者または代理人が招集所の招集用紙に○印をつけ、各競技の場所で最終点呼を受ける。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ 混成競技の招集は、両日共に第1種目は競技者または代理人が招集所の招集用紙に○印をつける。第2種目からはトラック競技は20分前、フィールド競技は30分前に混成競技者控室で招集を受ける。
- ④ リレー競技に出場する選手（4名全員）は、招集時刻内に招集所にて招集を受ける。ただし、その時間に他種目に出場する選手がいる場合は、その旨を招集時に競技者係に申し出ること。
- ⑤ 棄権する競技者は棄権届用紙（招集所に準備）に記入し招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ⑥ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑦ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通りに受けること。オーダー用紙の提出後は変更できない。怪我等の特別な理由がある時は本部へ申し出る。大会のドクターかトレーナーの診察を受け、変更を認めることがある。招集時間完了後は変更できない。
- ⑧ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

3 ナンバーカードについて

- (1) 出場者はナンバーカードを胸部と背部につけて出場しなければならない。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡されたレーンナンバーカードを右腰やや後方につけること。
- (3) 跳躍競技の出場者は、胸部または背部のいずれかを除いてもよい。

4 競技について

- (1) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、トラック種目及び走幅跳は9mm以下、走幅跳以外のフィールド種目は12mm以下とし、全天候型走路専用ピンに限る。
- (3) トラック競技において、欠場者のレーンは、そのまま空けておく。

- (4)トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (5)スタートについて。同一レースで同一人物が2回警告を受けたら失格となる。ただし、失格となった種目以外の出場はできる。
- (6)男女800m予選・決勝は、1レーンに2名のセパレートレーンで行う。
- (7)長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (8)4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても、位置を変えてはならない。なお、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (9)リレーに出場のチームは、各校同一のユニフォームを着用すること。
- (10)次のトラック競技は、スタート後下記の時間で競技を打ち切る。ただし、この時間に大水濠を通過したものは、そのままフィニッシュラインへ向かってよい。

男子 5000m 18' 30" 3000mSC 13' 00" 5000mW 40' 00" 女子 3000m 13' 00" 5000mW 40' 00"

- (11)走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、気象条件等により変更することもある。

男子走高跳 1.65 ～（5cm刻み）～ 1.75 1.80 1.85 1.88（以降3cm刻み）

女子走高跳 1.30 ～（5cm刻み）～ 1.50 1.53（以降3cm刻み）

男子棒高跳 2.50 ～（20cm刻み）～ 3.70 3.80（以降10cm刻み）

男子八種走高跳 1.45 ～（5cm刻み）～ 1.70 1.73（以降3cm刻み）最初の高さの申告可

女子七種走高跳 1.20 ～（5cm刻み）～ 1.45 1.48（以降3cm刻み）最初の高さの申告可

- (12)次のフィールド競技は、下記の記録以下は計測しない。ただし、気象条件等により変更することがある。

男子 走幅跳 5.50 三段跳 11.30 砲丸投 8.00 やり投 28.00

女子 走幅跳 4.20 やり投 20.00

- (13)投てき競技に出場する競技者は、事故防止に十分に注意すること。
- (14)通信機器（携帯電話・トランシーバー等）、音響端末機器等の競技場内への持ち込みは禁止する。競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。

5 競技の抽選及び番組編成について

- (1)トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、該当競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも決まらない場合は、レーンに余裕があれば次のラウンドに進める。レーンに余裕がない場合は、「同着」とし抽選する。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。
- (2)抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は棄権とみなす。
- (3)男女400m・女100mH・男女400mH・男女4×100mR・男女4×400mRは予選タイム上位8名（チーム）が決勝に進出することができる。男女800mは予選タイム上位12名が決勝に進出することができる。

6 競技用具について

- (1)この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2)ハンマー・やりは、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3)検査は、第4ゲート用器具倉庫にて時間（通告する）を決めて行う。

7 練習について

- (1) フィールド種目の練習は、招集後に本競技場内で行う。
- (2) ハンマー投の本競技場での練習は、公式練習2回のみ行う。
- (3) 競技場内の練習については事故防止のため、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (4) 雨天練習場は、100mスタート方向からの一方通行とする。もどる際は、走路両サイドの端を通行すること。各校の控え所としての雨天練習場使用は禁止する。
- (5) 投てき練習場の練習については、安全面を考えて行う。できるだけ顧問などが付き添う。練習の優先順位は①当日の種目で競技が終わっていない種目②競技が終わっていない種目とする。競技が終了した種目の練習はできない。主催者側は、事故や怪我などの責任を一切負わない。

8 表彰について

- (1) 各種目の表彰は第3位まで行う。第3位までの入賞者は決勝終了後、本部の被表彰者席で待機する。なお、他種目出場で表彰を受けられない場合は、代理人を出すこと。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までを表彰する。
- (3) 入賞者の得点は、1位6点、2位5点、以下4・3・2・1点とする。

9 県大会について

- (1) 本大会第8位までの入賞者は、県大会（9/15～16 博多の森陸上競技場）の出場資格を得る。ただし、男女競歩・女子三段跳・女子棒高跳・女子ハンマー投は第6位まで、男女混成競技は第5位までとする。
- (2) 県大会出場資格を得た学校は、大会本部で必要書類を受け取り所定の手続きを行う。「仮申し込み書」は本大会終了後速やかに（大会中でも可）大会本部へ提出する。
- (3) 男女混成競技の県大会出場者は、「仮申し込み書」に走高跳の最初の高さの希望を記入すること。
- (4) 県大会参加料は、出場者1名につき500円。後日、福岡県高体連から当該校へ請求される。

10 その他

- (1) 記録については通告をするが、別にフィニッシュライン側玄関外側に掲示する。
- (2) スタンドにはテントを設置しないこと。
- (3) 各校の控え所については、譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。
- (4) 各校の控え所の目印等で、紙のガムテープを床に貼らないこと。
- (5) 雨天練習場を各校の控え所としての使用は禁止する。
- (6) 各校の応援用横断幕・のぼりは、サイド・バックスタンドの中段以上とし、スタンドの一番下には張らないこと。のぼりはメインスタンド最上段に掲示してもよい。
- (7) 応援については、競技場内や競技場内通路での応援は禁止する。
- (8) 集団での連呼応援、フィールド競技を行っている際のその付近での応援は禁止する。
- (9) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。
- (10) ゴミについては、各学校で責任を持って持ち帰ること。
- (11) ビデオを見せる場合は、スタンドからのみ認める。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため競技区域から離脱する行為は認めない。